



# わかむぎ

No.4 令和5年7月18日 発行/古屋正樹

青空に映える「肋骨雲」  
筋張った姿からその名が付いたとか…  
言い得て妙とは まさにこのこと

7月6日学校上空

## それぞれの1学期、みんなよく頑張った！

いよいよ1学期が終了となります。あっという間の4ヶ月間、みなさんにとってどんな1学期だったでしょうか。

振り返ってみると、毎日の学習や部活動はもちろんのこと、生徒会や学年の取組、仲間や先生とのふれあいを通して、きっと大きく成長した1学期だったと思います。3年生は学校のリーダーとして、また、2年生は3年生のサポート役&1年生の身近なお手本として、**押中魂**を胸に頑張ってきました。とりわけ1年生にとっては、「初めての中学校」に戸惑いながらも1学期終了を無事に迎えられることは**大きな自信**になったことでしょう。また、一人一人に目を向けると、学習を頑張った、部活動に打ち込んだ、友だちと楽しい時間を過ごした等、それぞれが何かに夢中になったり、熱中したり、のめり込んだりした、いい時間を過ごせたと思います。もちろんすべてが順風満帆というわけではなく、苦勞したこと、悩んだこと、ちょっと手を抜いたことなどもあったでしょう。それらを含めた1学期すべてが、きっと一人一人の**糧**(=生きていくための力)となり、今後の自分自身を創り上げてくれるのだと信じています。

さあ、待ちに待った夏休みがやってきます。県総体やコンクール、関東大会に向けて部活に燃えている人、学習や進路を意識して取り組もうとする人、のんびりとエネルギーの充電をする人と、それぞれが思い思いの「夏」を描いていることでしょう。貴重な自分の時間として有意義に過ごしてほしいと思います。ぜひ、充実した夏休みを。

## 『押中魂!』見参 ~中巨摩総合体育大会~

3年生にとって最後の挑戦の場となった「中巨摩総合体育大会」。この大会が持つ意味は大きく、3年生にとってはこれまでの努力の集大成ともいえる大会です。運動部員にとって、中学校生活の中でも特に思い入れの大きな大会です。

大会に先立ち行われた壮行会では、各部の意気込みが語られると同時に、激励の応援が行われました。この壮行会で印象に残ったのは、**生徒の礼儀正しさ、思いの大きさ、健気な姿**です。最後の大会に懸ける3年生の熱意、その3年生をサポートする1・2年生の思い、また、懸命にエールを送る応援団、さらには、軽快な演奏を披露した吹奏楽部、校内各所にある美術部の応援メッセージなど、まさに**全校生徒が一体となった壮行会**でした。

大会当日は、各部（個人）によって勝敗の差はありましたが、**全力で戦う姿や応援する姿、ワンプレーに歓喜するベンチなど「押中生の素晴らしさ」**をたくさん観ることができました。3年生の一生懸命な姿から、「押中魂」を後輩たちの目にしっかり刻むことができたのではないのでしょうか。残念ながら、この中巨摩総体をもって引退となった生徒もいますが、県総体に出場する多くの部（個人）は、関東・全国大会を目指すだけでなく、自分の納得のいく挑戦をしてきてほしいと思います。今月下旬に行われる県総体でも、**「一生懸命が一番かっこいい」押中生**を期待しています。がんばれ、押中生！



手作りのてるてる坊主が見守る



画像は一部修正してあります。